

第245回研究科委員会・第353回教員会議 議事要録

日 時：令和5年5月10日（水） 12：50～13：15、13：30～14：50

場 所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

◆研究科委員会◆

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年度学修案内（理工学専攻博士前期課程）の修正について
資料1に基づき説明があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

(2) 令和5年度9月修了の日程について
資料2に基づき説明があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

(3) 令和5年度非常勤講師計画について
資料3に基づき説明があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

2. 入学試験委員会

(1) 令和6年度大学院（博士前期課程・博士後期課程）学生募集要項について
資料4に基づき説明があった。修正等があれば来週末までに指摘をお願いしたい。現時点で提案通り承認された。

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年度大学院研究課題等一覧について
資料5に基づき説明があった。修正等があれば教務委員会に連絡してほしい。

2. 入試広報委員会

(1) オープンキャンパスの実施について
資料6に基づき説明があった。2日間の分散型開催とする。理工は7月15日（土）に開催する。教員や研究室学生の協力をお願いしたい。

3. その他

(1) 評議員から、今年度も学長裁量経費で院生支援を行うとのアナウンスがあった。後日メールで詳細を案内する。昨年度までは4年生も支援対象としたが、今年度は予算削減のため院生のみを支援対象とする予定との付言があった。

(2) 研究科長から、全学FDに関する依頼があった。今年度のカリキュラムFD担当者を5月中に選出してほしい。

(3) 国際交流センター委員長より、資料12に基づき外国人留学生の履修指導および在籍管理の徹底等について依頼があった。詳細はメールで依頼したので参照してほしい。学生生活委員長から、学生対応について質問があった。国際交流センター委員長から、国際交流センターでは丁寧に対応をしているので、留学生については学生・留学生課だけではなく国際交流センターを利用してほしいとの返答があった。

◆教員会議◆

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 令和5年度9月卒業の日程について

資料2に基づき説明があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

(2) 令和5年度非常勤講師計画について

資料3に基づき説明があった。特に質問はなく、提案通り承認された。

2. 財務・施設委員会

(1) 令和5年度予算編成方針と予算配分案について

資料7に基づき説明があった。昨年度と比べて光熱水費の高騰などで各学類への配分額が27%の減となっている。個別の事情がある場合には、財務・施設委員会に相談してほしい。学類長から、全学の光熱水費については4億6千万円を見込んでおり、昨年度から倍増となっているとの情報提供があった。特に意見等は出されず、提案通り承認された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) R4年度補正予算及びR6年度概算要求の対応状況について

プロジェクター投影により、5月時点の状況について3件の説明があった。1件目の「地域中核・特色ある研究大学の振興」については、施設整備事業として募集が行われ、3月に申請を行った。学長の説明資料では本学の「理工系へ転換」が謳われている。しかし、残念ながら施設の申請は採択されなかった。設備については申請準備を行っている。2件目の「成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた基金による継続的支援」については②「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化支援」において大学院の定員増を目指しており、特例で学類の定員増も可能となっている。5月下旬が申請締め切りで、4月に文科省に事前相談に行ってきた。前期課程において20名の純増案で文科省と相談した。学類の定員増はR7年度を、前期課程の定員増はR9年度を予定している。今週末に再度文科省で事務相談を行う。この申請の要件に、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの応用基礎レベルへの申請が必要となっている。3件目はR6年度の概算要求についてで、昨年度理工は申請を出せなかった。今回は全学として認められるように手順を踏み、福島県と協定を結ぶなど準備を進めてきた。昨年度までの「再エネ」の延長として位置付けており、今回はとくに水素エネルギーを取り上げている。文科省との事前相談では、「水素」が尖鋭化しているとの指摘があり、現在名称や部門構成を再検討している。概算要求は7月が締め切りとなっており、5月25日に再度文科省へ事務相談に行く。

准教授から、大学院の定員を増やす件について定員未充足問題にどう対処するのか、学類生の1/3が大学院生の進学する想定となっていたが大丈夫かとの質問があった。学類長から理工学研究科で65名（理工学専攻は60名）、学類は40名の増員を想定しているとの返答があった。2年前倒し期間は学生160名で大学院進学は60名必要となる。そのため教員6名増を文科省に要求していく。学類40名増員の特例措置については、10年後までには理系以外の学類の定員を減らさなくてはならない。増やそうとする教員はテニユアであるなどの付言があった。最後に学類長から、今後も教員のみなさんに協力してほしいとの依頼があった。

2. 教務委員会

(1) 転学類・転コースについて

資料8に基づき説明があった。例年と同様に進めているとのことで、特に質問等は出なかった。

3. 入学試験委員会

(1) 令和6年度個別学力検査等の専門委員について
資料はなく、仮委嘱状の説明があった。まだ受け取っていない場合は早めに支援室に取りに行ってもらいたい。委嘱された方は資料を熟読し、スケジュールの確認もお願いしたい。

(2) 令和6年度入学者選抜要項及び学生募集要項について
資料9に基づき説明があった。QRコードを使用して入学者選抜要項及び学生募集要項を公開している。教授から学校推薦型の志望理由書について、従来は特に記載事項がなかったため、この機会に記載事項を入れた方がよいのではないかと提案があった。評議員から、今年度の検討結果をもとに、来年度の入試委員会で募集要項作成時に具体化してほしいとの返答があった。

4. 財務・施設委員会

(1) 令和5年度スペースチャージ徴収額の確認について
資料10に基づき説明があった。今年度は予算削減のためスペースチャージ徴収額を3割減額とした。教授から、資料10の修正について質問があり、財務・施設委員長から財務・施設委員会または支援室担当者に連絡するようとの返答があった。

(2) 個人教育経費の扱いの変更について
口頭で、個人教育経費の赤字についての説明があった。今後は研究経費と同様に赤字になった場合には次年度の経費から差し引かれることになる。教授からいつから実施されるのかとの質問があり、財務・施設委員長より今年度の赤字分から適用されるとの返答があった。

5. 学生生活委員会

(1) 令和5年度東北地区大学体育大会参加学生の欠席科目の取扱いについて
資料11に基づき、依頼があった。学生から申請書の提出があった場合には、特段の配慮をお願いしたい。

6. 奨学寄附金の受入について
奨学寄附金2件、受託研究1件、学術指導1件との報告があった。

[その他]

1. 外国人留学生の履修指導及び在籍管理の徹底等について（依頼）
すでに国際交流センター委員長より説明があったので省略。

2. 学類長から、サイエンス屋台村に5名の教員から応募がきているとの報告があった。まだ人数が少ないので、さらに応募してほしいとの協力依頼があった。

◆教育研究評議会◆

○第397回（4月13日書面審議）報告

(1) 【報告】経営協議会学外委員の選出について <資料1>
書面審議により、2名の候補者が選定されたとの報告があった。

○第398回（4月18日開催）報告

(2) 【報告】経営協議会学外委員について <資料2>
2名が選出された。残任期は1年間である。

(3) 【審議】学長選考・監察会議委員の選出について <資料3>
評議会からの5名は、各学類長が選出された。

(4)【報告】教育研究評議会の役割について <資料4>
4つの会議の役割の説明があった。

(5)【報告】第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について <資料5>
全体評価結果と「特筆すべき点」が紹介された。研究と業務運営は「おおむね達成」であった。学長談話や個別の評価結果、各大学の「改善すべき点」が紹介された。

(6)【報告】第4期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領等について <資料6>
3月23日に確定・公表された。第3期からの変更点や質疑の内容が紹介された。

(7)【報告】「第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標」申請結果について <資料7>
本学が申請した「意欲的な評価指標」3件はいずれも指定を受けなかったとの報告があった。

(8)【報告】教育推進機構 教員の採用人事について <資料8>
「地域×データ」で2名の特任教員を採用した件について報告があった。

(9)【報告】2050年カーボンニュートラルの実現に向けた福島県と国立大学法人福島大学の連携に関する協定書の締結について <資料9>連携協定の内容が紹介された。加えて、連携事項の内容について説明があった。

(10)【報告】国立大学法人福島大学地域未来デザインセンターと特定非営利活動法人CeFILデジタルビジネス・イノベーションセンターとの連携協力に関する協定書の締結について<資料10> 連携協定の内容が紹介された。

(12)【報告】国際原子力機関（IAEA）と福島大学環境放射能研究所（IER）との福島事故の影響を受けた地域における環境モニタリングおよび環境マネジメント分野における研究協力に関する実施取決め書（部局間）の締結について <資料12>
研究協力の範囲など、取決め内容について紹介があった。取決め書の9と10が新たに追加された内容であるとの付言があった。

◆運営会議◆（学類長）

○第186回（5月9日書面開催）報告

(1)【報告】令和5年度オープンキャンパスの開催日程について <資料1>
日程と内容について報告があった。

(2)【報告】令和5年度学長表彰について <資料2>
理工からは2名の教授が学長教育特別表彰を受けることになった。

(以上)